

## (1) 植物の保全対策に係る検討

### 1) 有用植物保全対策の全体的な進め方と保全モデル地区(案)の設定について

#### ①有用植物保全対策の全体的な進め方

- ・平取ダム事業用地における有用植物の「生育適地」の検討



有用植物の保全対象候補地の抽出(平取町調査班)



#### 【どこで保全するか】

- ・保全対象箇所の標高(ダム水位との関係)の確認
- ・管理上の利便性(アクセスのしやすさ)の確認



#### 【何を保全するか】

- ・有用植物の重み付けを考える上でのチェックリストの作成と確認
- ・平取ダム建設予定地における現存植生状況の確認



#### 【将来どのように利用するか】

- ・保全対象地における保全目的と役割の確認
- ・ダムの施設区域と工事との関係確認



有用植物保全モデル地区(案)の選定

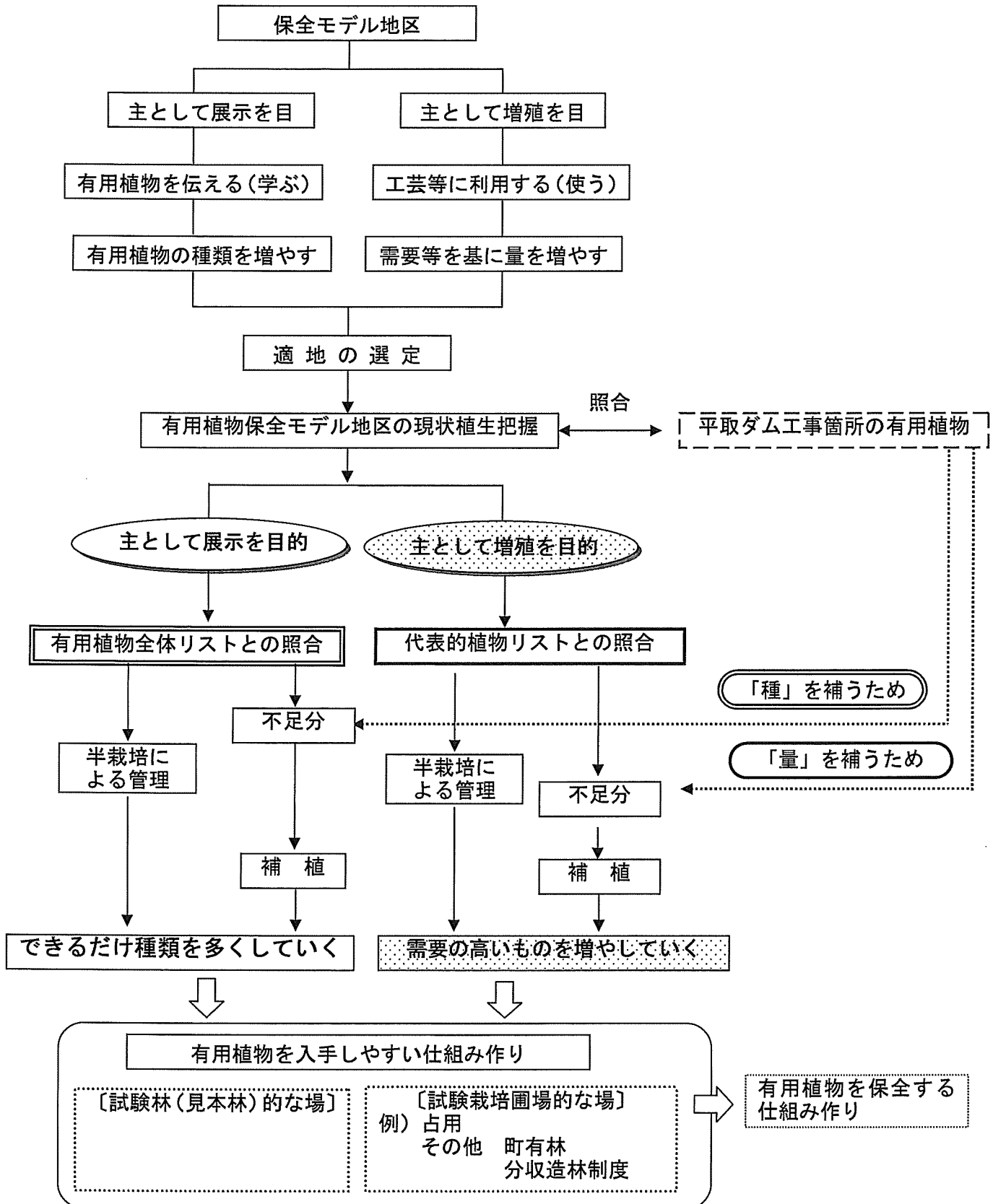


モデル地区における具体的な保全対策の実行

〔有用植物保全対策に関する具体的手順フロー（案）〕

※「有用植物全体リスト」：平取町調査班調査報告書（H17・18）

※「代表的植物リスト」：生態系遷移ワーキング報告書（H17）



有用植物に関わる全体リスト（木本類）（案）

No.	有用植物項目				アイヌ文化環境保全対策調査総括報告書より										利用実態（聞取調査により補足）					
					用途					利用状況			現存状況		再現可能性	食に関する聞取				
	区分	科目名	和名	アイヌ語名	食	薬	生活用具	信仰	その他	かつて利用されていた材料	現在使用されている材料	現在使用されている材料の事例	ダム用地	ダム用地以外		ウタリ協会平取支部	二風谷観光振興組合	企業組合二風谷民芸	食文化部会(アイヌ文化保存会)	追加聞取調査(2件)
1	被子植物	クルミ科	オニグルミ	ネシコ	○		○	○	漁具・染料	○	○	食・小刀の鞘	○	○	○		●	○		☆ ☆
2		ヤナギ科	ヤナギ類	スス		○	○	○	漁具	○	○	リュウマチ・箸・イナウ	○	○	○	○	●	○		
3			バッコヤナギ	チブニスス			○				○	○	丸木舟	○	○		○	○		
4		カバノキ科	シラカンバ	レタッタツニ		○	○	○	染料・入れ墨	○	○	母乳がよく出る	○	○	○			○		
5			(ハンノキ)	ケネ		○	○	○		○	●	チセの骨組み	○	○	○			●		
6			アサダ	セイェカバラ			○			○	●	織機の道具	○	○				●		
7			ウダイカンバ	シタツ			○			○	○	樹皮のお椀	○						○	
8		ブナ科	クリ	ヤムニ		○		○		○	○	食	○	○						☆ ☆
9			(どんぐり)	ニセウ		○			ヒグマの食べ物	○			○	○						◆
10			ミズナラ				○	○	ヒグマの食べ物	○	○	臼	○	○	○			●		◆
11			コナラ	ペロ			○	○	ヒグマの食べ物	○	●		○	○				●		◆
			カシワ	トゥンニ		●	●				●		●	●	●					
12		ニレ科	ハルニレ	チキサニ			○			○	●		○	○	○			●		
13			オヒョウ	アツニ			○			○	○	着物など	○	○	○	○	○	●		
14		クワ科	ヤマグワ	トゥレブニ		○	○	○		○	○	食・食用箸	○	○				●		☆ ☆
15		ヤドリギ科	ヤドリギ	ニハル		○	○	○		○			○	○						■
16		ツツジ科	ツツジ類	リテンニ		○			(○印のみ)	○	○	食		○						◆
17			ハクサンシャクナゲ	リヤムシ					煙草の代わり	○										
18		モクレン科	キタコブシ	オブケニ		○	○			○	○	食・風邪予防	○	○						
19			ホオノキ	ブシニ			○	○		○	○	漢方薬・山刀の鞘	○	○				○		
20		マツバサ科	チョウセンゴミシ	レブニハツ			○			○	○	咳止め	○	○						■
21		カツラ科	カツラ	ランコ			○	○	(○印のみ)	○	○	舟	○	○	○	○	○	○		
22		マタタビ科	サルナシ	クッチ		○	○	○	ヒグマの食べ物	○	○	食・神経痛・カンジキ	○	○				○		☆ ☆
23			マタタビ	マタタンブ		○	○			○	○	食・嘆息	○	○						☆ ☆
24		ユキノシタ科	ノリウツギ	ラスパ			○		(○印のみ)	○	○	櫛	○	○				○		
25			マルスグリ	ー		○				○	●	食		○						☆
26		バラ科	サクラ類	カリンパニ		○	○	○	ヒグマの食べ物	○	○	食・山刀の鞘	○	○	○			○		■ ■
27			エゾノウワミズザクラ	キキンニ		○	○			○	○	食・風邪薬	○	○	○			○		◆
28			ナナカマド	イワキキンニ		○		○		○				○						
29			ホザキシモツケ	ニタッシンケブ			○			○										
30			シウリザクラ	シウリ			○		ヒグマの食べ物	○	○	キテ	○	○				○		
31		マメ科	イヌエンジュ	チクベニ			○	○		○	○	チセコロカムイ	○	○			●	○		
32	エゾヤマハギ		シンケブ			○		焚き付け	○			○	○							

※記号例 ○=総括報告書データ ●=聞取補足データ ▲=文献データ(アイヌの食材-アエブ-参照)  
 ※ウタリ協会平取支部からは上記の項目の他に、薬として利用される植物も挙げられている。

有用植物に関わる全体リスト（木本類）（案）

No.	有用植物項目			アイヌ文化環境保全対策調査総括報告書より										利用実態（聞き取り調査により補足）						
				用途					利用状況			現存状況		再現可能性	食に関する聞き取り					
	区分	科目名	和名	アイヌ語名	食	薬	生活用具	信仰	その他	かつて利用されていた材料	現在使用されている材料	現在使用されている材料の事例	ダム用地	ダム用地以外	栽培実証試験	ウタリ協会平取支部	二風谷観光振興組合	企業組合二風谷民芸	食文化部会（アイヌ文化保存会）	追加聞き取り調査(2件)
33		ミカン科	キハダ	シケルベニ	○	○	○	○		○	○	食・傷薬・染料	○	○	○	○		●	●	◆
34			サンショウ	カンチカマニ	○		○			○	○	食		○						■ ◆
35		ニガキ科	ニガキ	シウニ	○	○	○			○										◆ ◆
36		ウルシ科	ヤマウルシ	ウッシ			○			○			○							
37		カエデ科	いたや類	トベニ	○	○	○	○		○	○	食・母乳がよく出る・小刀の鞘	○	○	○			○		◆ ◆
38		ニシキギ科	ツルウメモドキ	ユクルオマニ			○			○	○	縄・紐	○	○				○		
39			ツリバナ	カスブニ			○			○			○	○						
40		ミツバウツギ科	ミツバウツギ	エソロカンニ			○			○			○	○						
41		ブドウ科	ヤマブドウ	ハツ	○	○	○	○	ヒグマの食べ物	○	○	食・モリの台木	○	○			●			☆ ☆
42			ノブドウ	ー			○			○	○	湿布		○						■
43		シナノキ科	シナノキ	ニベシニ			○			○		彫刻・衣服	○	○	○		●	○		
44			オオバボダイジュ	ヤイニベシニ			●			●		彫刻・衣服	●	●	●					
45		ミズキ科	ミズキ	ウトウカンニ			○	○		○	○	イナウ	○	○	○	○		○		
46		モクセイ科	ハシドイ	ブンカウ			○	○		○	○	チセコロカムイ		○	○		●			
44			アオダモ	イワニ		○	○		刺青	○			○	○	○					
47			ヤチダモ	ピンニ			○			○			○	○	○		●			
48		ウコギ科	タラノキ	アユシニ	○	○	○	○		○	○	食・糖尿病	○				●			☆ ☆
49			ケヤマウコギ	ホロカアユシニ	○					○			○							◆
50			ハリギリ	アユシニ			○			○	○	箕	○	○	○			○		
51		スイカズラ科	エゾニフトコ	ソコニ	○	○	○	○		○	○	食・利尿作用	○							◆
52	裸子植物	マツ科	エソマツ	スルク	○	○	○	○		○	○	煎じて飲む						○		◆
53			トドマツ	フブ	○		○			○	○	熊の干し棒	○	○			●			◆
54		イチイ科	イチイ	クネニ			○			○	○	弓		○				○		■
55	菌類	イグチ科	ハナイグチ	ー	○					○	○	食		○						☆ ☆
56		サルノコシカケ科	さるのこしかけ	アペオブカルシ	○					○				○						
57			マスタケ	ー	○					○	○	食		○						☆ □
58			マイタケ	ユクカルシ	○					○	○	食		○						☆ ☆
59		ヒラタケ科	タモギタケ	チキサニカルシ	○					○	○	食	○							☆ ☆
60	地衣類	カブトゴケ科	カラフトカブトゴケ	ニコンプ	○					○				○						

※記号例 ○＝総括報告書データ ●＝聞き取り補足データ ▲＝文献データ（アイヌの食材－アエブ－参照）  
 ※ウタリ協会平取支部からは上記の項目の他に、薬として利用される植物も挙げられている。  
 ※◆：子供の頃のみ食べた、☆：子供の頃から現在まで食べる、■：時々食べる、□：最近食べる  
 ※薬として服用したものについては、「食」とした。

有用植物に関わる全体リスト（草本類）（案）

No.	有用植物項目			アイヌ文化環境保全対策調査総括報告書より										利用実態(聞き取り調査により補足)				
				用途					利用状況			現存状況		ウタリ協会 平取支部	企業組合二 風谷民芸	食に関する聞き取り		
	食	薬	生活用具	信仰	その他	かつて利用 されていた 材料	現在使用さ れている材 料	現在使用さ れている材 料の事例	ダム用地	ダム用地 以外	食文化部会 (アイヌ文化 保存会)	追加聞き 取り調査(2件)						
科目名	和名	アイヌ語名																
1	双子葉植物	イラクサ科	エゾイラクサ	ハイキナ	○		○			○	●	着物の繊維	○	○		●	■ ■	
2			ムカゴイラクサ	カバイ			○			○	●		○	○		●		
3			イラクサ	イピシシブ							●	着物の繊維				○		■
4		タデ科	オオイタドリ	イコクツタラ	○	○	○	○		○	●	食	○	○			■ ■	
5			ヒメスイバ	ー	○					○	○	食					◆ ◆	
6		スベリヒユ科	スベリヒユ	ー	○					○			○					
7		ナデシコ科	ハコベ	リテンキナ		○				○			○	○				
8		アカザ科	アカザ	ー	○					○	○	食	○				◆	
9		キンポウゲ科	ニリンソウ	ブクサキナ・オハウキナ	○	○				○	○	食・産後回復	○	○	○		●	☆ ☆
10			エゾノリュウキンカ	ー	○					○			○					
11			カラマツソウ	アリッコ		○				○			○	○				
12			トリカブト類	スルク			○			○			○	○				
13		ケシ科	エゾエンゴサク	トマ	○					○	○	食	○					
14			クサノオウ	オトムブイキナ		○				○			○					
15		バラ科	クロイチゴ	クンネアユシニ	○	○				○	○	食・腹痛	○				☆ ☆	
16			(イチゴ)	エマウリ	○					○	○	食	○	○			☆	
17			(キイチゴ)	フレアユシニ				○		○	●	食	○	○			☆ ☆	
18		マメ科	ヤブマメ、ツチマメ	アハ	○					○	○	食	○	○		●	■ ■	
19			ムラサキツメクサ	ー	○					○			○				◆ ■	
20		フウロソウ科	ゲンノショウコ	ポンライタ		○				○			○					
21		ヒシ科	ヒシ	ベカンベ	○					○	○	食					◆	
22		ウコギ科	ウド	チマキナ	○	○			(○印のみ)	○	○	食・傷薬	○	○		▲	☆ ☆	
23		セリ科	アマニュウ	チフイエ	○					○	○	食	○	○		▲	■	
24			オオハナウド	ピットク	○					○	○	食・織木の一部	○	○		●	◆	
25			エゾニュウ	ー	○					○			○					
26			セリ	ー	○				ヒグマの食べ 物	○	○	食	○	○			☆ ☆	
27			ミツバ	ー	○					○	○	食	○	○			☆ ☆	
28			ホソバトウキ	ウベウ		○				○	●			○			●	
29		サクラソウ科	クサレダマ	ー	○					○				○				
30		ガガイモ科	イケマ	イケマ・ベヌブ	○	○	○	○		○	○	食・流行り風 邪など	○			●		
31			ガガイモ	エブンカウ	○					○	○	食	○				◆ ◆	
32		シソ科	ナギナタコウジュ	エント		○				○	○	何かの薬	○				◆	
33		オオバコ科	オオバコ	エルムキナ		○				○			○					
34		キキョウ科	バアソブ	ムク	○	○		○		○	○	食・母乳がよく 出る	○	○			◆	
35			ツリガネニンジン	ムケカシ	○					○	○	食	○					
36		キク科	アキタブキ	コロコニ	○	○	○		ヒグマの食べ 物	○	○	葎・ほしかの薬・ 日よけの家・仮小 屋の材料	○	○	○	●	▲	☆ ☆
37			(ヨモギ)	ノヤ	○	○			(○印のみ)	○	○	食・止血剤・ 矢柄	○	○		●	☆ ☆	
38			アザミ類	アンチャミ	○					○	○	食	○					◆
39			ハンゴンソウ	オロムン	○					○	○	食	○	○				

※記号例 ○=総括報告書データ ●=聞き取り補足データ ▲=文献データ(アイヌの食材-アエブ-参照)  
※ウタリ協会平取支部からは上記の項目の他に、薬として利用される植物も挙げられている。

有用植物に関わる全体リスト（草本類）（案）

No.	有用植物項目			アイヌ文化環境保全対策調査総括報告書より										利用実態(聞き調査により補足)						
				用途					利用状況			現存状況		ウタリ協会 平取支部	企業組合二 風谷民芸	食に関する聞き				
	食	薬	生活用具	信仰	その他	かつて利用 されていた 材料	現在使用さ れている材 料	現在使用さ れている材 料の事例	ダム用地	ダム用地 以外	食文化部会 (アイヌ文化 保存会)	追加聞き 調査(2件)								
40	キク科	ヨブスマソウ	チレクテクッタラ	○				(○印のみ)	○	○	食	○	○			◆	◆			
41		キクイモ	ー	○					○	○	食					◆	◆			
42		モミジガサ	ー	○					○	○	食	○	○			☆	☆			
43		タンポポ類	ホノイノイェブ		○					○			○	○			◆	◆		
44	単子葉植物	ユリ科	オオウバユリ	トゥレブ	○	○		○			食・下痢止め	○	○		●	●	◆	■		
45			ギョウジャニンニク	ブクサ	○	○		○				薬・折衝師も薬 力が強い薬草と 思われていた	○	○	○		●	☆	☆	
46			カタクリ	エシケリムリム	○					○	○	食	○	○				☆	☆	
47			ヒメイズイ	キウ	○					○	○	食							◆	
48			エンレイソ・ヒダカエンレイソウ	クンネキナエマウリ	○					○	○	食	○	○					◆	◆
49			エゾネギ	シクトル	○					○									☆	☆
50			シュロソウ	ヌベ	○					○	○	食・薬	○	○			●			
51			ノビル	ネンピロ	○					○	○	食	○						☆	☆
52			ユキザサ	ペペロ	○					○	○	食	○	○					☆	☆
53			タチギボウシ	ウクルキナ	○					○	○	食	○							
54			イネ科	(ミヤコザサ)	フツタブ	○					○	●	仮小屋の材料	○	○		●			
55				チシマザサ	ルムネトブ	○					○				○				◆	
56				キタヨシ・ツルヨシ(ヨシ)	サラキ・スブキ			○			○	●	チセの材料	○	○	○	●			
57				オギ	シキ			○			○	●	チセの材料		○		●			
58	ススキ類	シキ・スブ・キ・ラベンベ				○			○					○						
59	ススキ類(カヤ)	シキ・スブ・キ・ラベンベ							●					○	●					
60	サトイモ科	コウライテンナンショウ	ラウラウ	○	○				○	○	食・湿布薬	○	○	○						
61		ザゼンソウ	シケレベキナ	○			○	ヒグマの食べ 物	○			○	○							
62	ガマ科	ガマ	シキナ			○	○		○	○	トマ(コサ) まじない・チセ の材料	○	○	○	●					
63	カヤツリグサ科	サンカクイ	ソソバオキナ			○			○				○							
64		(カサスゲ)	ヤヤンキナ			○			○				○							
65	ラン科	コケイラン	ミマクコトウク	○	○			漆器磁器	○	○	食・腹痛・漆 器磁器の補修	○	○				◆			
66	シダ植物	トクサ科	スギナ	○	○				○	○	食・糖尿病	○	○				◆			
67		トクサ	シブシブ			○			○			○	○							
68	ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	ソロマ	○					○	○	食	○	○				☆	☆		
69	チャセンシダ科	コタニワタリ	エフルベシキナ		○			たばこの代用	○				○							
70	メシダ科	クサソテツ	ソロマ	○			○		○	○	食・風邪予防	○	○			▲	☆	☆		
71	ワラビ科	ワラビ	ワランベ・ワラムビ	○					○	○	食	○	○				☆	☆		

※記号例 ○=総括報告書データ ●=聞き調査補足データ ▲=文献データ(アイヌの食材-アエブ-参照)  
 ※ウタリ協会平取支部からは上記の項目の他に、薬として利用される植物も挙げられている。  
 ※◆: 子供の頃のみ食べた、☆: 子供の頃から現在まで食べる、■: 時々食べる、□: 最近食べる  
 ※薬として服用したものについては、「食」とした。

## 代表的な保全対象の木本類・草本類（代表リスト）について

※ 下表は、「平成17年度総括報告書 生態系遷移ワーキングチーム報告」より抜粋したもので、利用頻度の高い有用植物を代表的な植物とみなしています。

※ 下表の色付き箇所は、現在、栽培実証試験を行っているものです。

## ■対象種－木本類

植物名	利用例	植物名	利用例
オニグルミ	食用、生活用具	エゾヤマザクラ	食用、生活用具
ハルニレ	薬、生活用具	ホオノキ	薬用、生活用具
オヒョウ	衣服	バッコヤナギ	生活用具
ハシドイ	生活用具	ツリバナ	生活用具
ヤチダモ	生活用具	ウダイカンバ	生活用具
シナノキ	生活用具	イヌエンジュ	食用、生活用具、儀礼、その他
センノキ	儀礼、生活用具	イチイ	薬用、生活用具
ミズキ	儀礼	ミズナラ・カシワ	生活用具
キハダ	食用、薬用、生活用具、儀礼	エゾマツ	狩小屋
イタヤカエデ類	食用、生活用具、儀礼、その他	ノリウツギ	生活用具

## ■対象種－蔓植物

植物名	利用例	植物名	利用例
ヤマブドウ	食用	サルナシ	食用

## ■対象種－草本類

植物名	利用例	植物名	利用例
ニリンソウ	食用	ススキ	建築資材
マムシグサ(コウライテンナンショウ)	食用	ワラビ	食用
ギョウジャニンニク	食用	ヤブマメ	食用
コタニワタリ	食用	イケマ	儀礼
オオウバユリ	食用	オギ	建築資材
ヤマドリゼンマイ	食用	サンカクイ(カンガレイを含む)	生活用具
クサソテツ	食用	ヨシ(ツルヨシを含む)	建築資材
アキタブキ	食用	ガマ(ヒメガマを含む)	生活用具
ウド	食用	ヒシ	食用

## ② 有用植物保全モデル地区（案）の選定について

有用植物の全般的な保全を図るにあたり、保全対象候補地と照らし合わせて、以下のとおり3種類の有用植物保全モデル地区の設定を行う。

## 保全対象植物に応じた保全モデル地区の設定

主となる 保全対象	保全対象候補 地の調査結果	現状自生植物	保全モデル地区の設定
多種の木本・草本	N-03※	オニグルミ キハダ オヒョウ アキタブキ ヨモギ シュロソウ オオウバユリ 他	多様な木本・草本類の 保全モデル地区-1
	S-05	ヤチダモ ハシドイ オヒョウ クサソテツ ミヤコザサ アキタブキ 他	多様な木本・草本類の 保全モデル地区-2
	S-11※	ハルニレ イヌエンジュ ヤチダモ 他	多様な木本・草本類の 保全モデル地区-3
スギキ（ヨシ）等	N-08	ヨシ 他	スギキ（ヨシ）の保全モデル地区
水生植物	S-10※	クサソテツ ミズバシヨウ 他	水生植物の保全モデル地区

※試験湛水時全部または一部に水没する地区

## 〔参考資料〕 保全対象植物と試験湛水期間に応じた保全モデル地区の利用想定時期

保全対象 植 物	保全モデル 地 区	ダム工事 期 間	試験 湛水 期間	ダム供用 開始後
多様な木本・草本	N-03※	-----		→
	S-05	—————		→
	S-11※	-----		→
スギキ（ヨシ）等	N-08	—————		→
水生植物	S-10※	—————		→

※試験湛水時全部または一部に水没する地区



有用植物保全モデル地区の位置図（案）

多様な木本・草本類の保全モデル地区-1



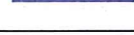



スプキ（ヨシ）の保全モデル地区

多様な木本・草本類の保全モデル地区-2

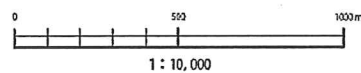
水生植物の保全モデル地区

多様な樹木・草本の保全モデル地区-3

凡 例

	制限水位 (152.5m)
	常時満水位 (167.4m)
	サーチャージ水位 (184.3m)
	現況道路
	付替道路
	河川敷地境界






縮尺 1 : 10,000



保全区域の記号

N = 額平川  
S = 宿主別川

保全区域の植生面の特色  
による分類

-  = 草本
-  = 水生植物
-  = スプキ(ヨシ)
-  = 樹木
-  = 植物園、圃場など

一平取ダム貯水池平面図一

## 2) 保全管理計画(案)の想定について

保全モデル地区の現状植生をふまえた有用植物を保全管理していくときの主な方法を整理すると、以下のように考えられる。

ア) 保全モデル地区の現状植生に関する事前調査を行う。

イ) 現存する有用植物の生育環境を維持・支援していく半栽培の方法を取り入れた保全管理を行う。

ウ) 保全モデル地区の現状植生に対して、展示目的(種の多様化)には「有用植物全体リスト」に対して不足するもの、増殖目的(量的増大)には「代表的植物リスト」に対して不足する当該植物について、補植による保全管理を行う。

なお、補植時期については、試験湛水期間を考慮する。

保全モデル地区名	保全対象候補地	現状自生植物	管理方法	補植方法	補植想定植物
多様な木本・草本類の保全モデル地区-2	S-05	ヤチダモ ハシドイ オヒヨウ クサソテツ ミヤコザサ アキタブキ 他	半栽培	移植・播種等	オヒヨウ等
スギ等の保全モデル地区	N-08※	ヨシ 他	刈取・野焼き等の管理	移植・播種等	ヨシ等
水生植物等の保全モデル地区-2	S-10※	クサソテツ ミズバショウ 他	刈取等の管理	移植・播種等	ガマ等

(以下については、ダム工事期間中は現存する有用植物の生育環境を維持する作業を主として行い、不足する当該植物については試験湛水期間終了後に補植による保全管理を行う。)

多様な木本・草本類の保全モデル地区-1	N-03※	オニグルミ キハダ オヒヨウ アキタブキ ヨモギ シュロソウ オオウバユリ 他	半栽培	移植・播種等	オヒヨウ等
多様な木本・草本類の保全モデル地区-3	S-11※	ハルニレ イヌエンジュ ヤチダモ 他	半栽培	移植・播種等	オヒヨウ等

〔 半栽培の方法 〕

○基本的な保全作業

- ・現地に自生している種を確認

<樹木>

- 現地踏査、目的種の発見
- 手入れ＝周囲の刈払い、枝おろし

<草本>

- 現地踏査、目的種の発見
- 手入れ＝周囲の刈払い

○基本的な頻度

- ・年間を通じて巡回し、必要に応じて下草刈を行う。
- ・夏場（5・6・7・8月）は、巡回を月に2回程度に増やす。

○半栽培的増殖の方法

- ・地表の確保、株分け、取り木など

有用植物の保安全管理に関する想定スケジュール（木本の場合）

年数の目安 ／項目	事前調査	1～3 年目	3～5 年目	5～10 年目	10～15 年目	15年 以降	適期
展示目的	保全モデル 地区現存植 生の詳細把 握	育苗圃 で育成	保全モ デル地 区に植 付	半栽培	半栽培	観 察	展示目 的の範 囲内の 採取
増殖目的	保全モデル 地区現存植 生の詳細把 握	育苗圃 で育成	保全モ デル地 区に植 付	下刈り、 枝払い、 除伐等	下刈り、 枝払い、 除伐等	半栽培	量的な 材料確 保を目 的とし た採取